

平成29年3月期 決算説明会

平成29年6月 7 日
株式会社 N F Kホールディングス
東証JASDAQ（証券コード6494）

-  会社概要
-  事業内容
-  平成29年3月期 決算概要
-  1 9 中期経営計画
-  戦略的新製品のご紹介

会社概要

商 号	株式会社N F Kホールディングス	事 業 内 容	持株会社（燃烧装置関連事業）
本 社	横浜市鶴見区尻手2丁目 1 番53号	事 業 所 ※	横浜市鶴見区／大阪／豊田／静岡工場
代 表 者	代表取締役社長 関口 陽介	関 連 会 社	連結子会社2社、持分法適用会社 1 社
設 立	1950年4月12日	決 算 日	3月31日
資 本 金	2,131百万円（平成29年3月末現在）	発行済み株式数	30,713,342株
売 上 高	2,590百万円（平成29年3月期連結）	上 場 証 券 取 引 所	東証JASDAQ （証券コード：6494）
従 業 員	92名（平成29年3月末現在・連結）	単 元 株 式	100株

※子会社含む

沿革

年 月	主 な 出 来 事
昭和25年 4月	日本火熱工業材料株式会社を設立
昭和25年 6月	日本ファーンズ工業株式会社に商号変更
昭和37年 8月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年 5月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成11年 6月	鶴見工場売却
平成16年 12月	ジャスダック証券取引所に上場
平成18年 10月	商号を株式会社N F Kホールディングスに変更
平成18年 10月	日本ファーンズ株式会社（現・連結子会社）を設立
平成20年 10月	株式会社ファーンズ E S（現・連結子会社）を設立
平成25年 6月	日本ファーンズ燃烧技術研究所設立

N F Kホールディングス 企業理念

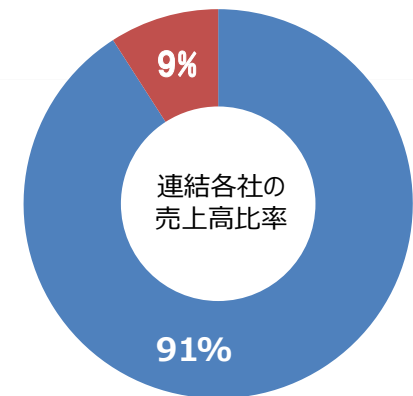
当社は長年培った燃焼技術を基に、絶え間ない努力とチャレンジによって、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行います。

企業集団の構成



会社名	事業内容	売上高
日本ファーンネス株式会社	燃焼関連装置製造販売	2,353百万円
株式会社ファーンネスE S	燃焼関連装置メンテナンス	235百万円

※株式会社リエロ・ジャパンは持分法適用関連会社となります。



■ 日本ファーンネス ■ ファーンネスE S

当社製品の社会とのかかわり



1

会社概要

2

事業内容

3

平成29年3月期 決算概要

4

1 9 中期経営計画

5

戦略的新製品のご紹介



1. プラントエンジニアリング事業

- ・産業機械関連
- ・ガス石油関連
- ・環境関連



2. 燃焼機事業

- ・金属加熱関連
- ・ボイラ関連



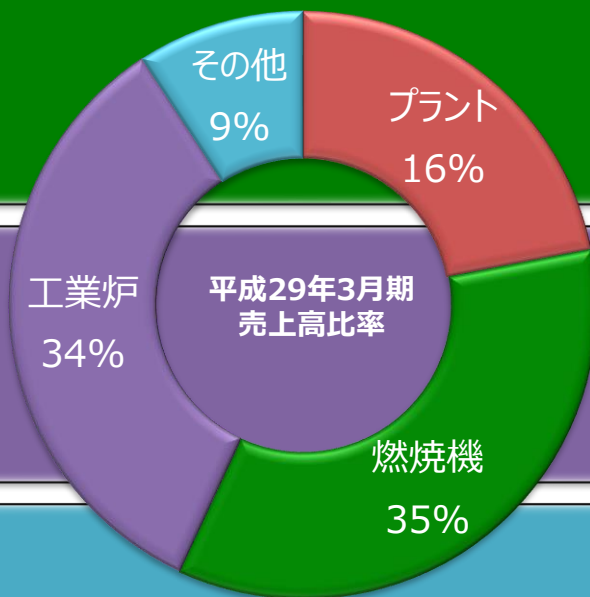
3. 工業炉事業

- ・自動車関連
- ・金属加工炉関連



4. その他

- ・メンテナンス事業
- ・その他



- 石油精製、石油化学、窯鋳業等の各種産業プラント用燃焼装置や加熱装置、環境に配慮した焼却設備やプロセス装置、廃液廃ガス焼却装置、また、低NO_x性に優れたロータリーキルン用バーナなどを製造・販売。

【取り扱い製品】

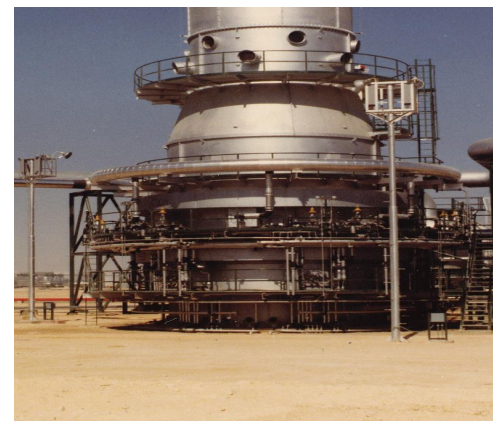
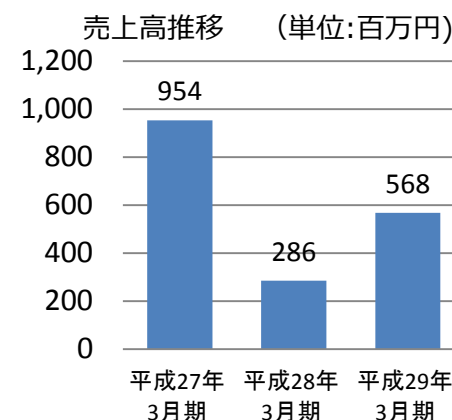
- ロータリーキルン用バーナ
- 熱風発生炉・加熱炉
- 廃液・排ガス・焼却設備・プロセス装置

【納入先】

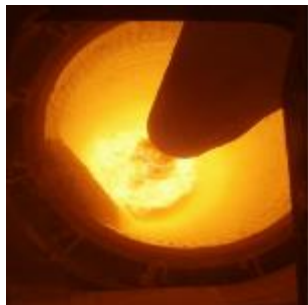
- セメントメーカー
- 石油・天然ガス関連企業、化学関連企業
- 天然ガス関連企業

Pickup !

- 廃液＆廃ガス燃焼装置
天然ガスプラントや化学工場などで発生する廃ガス＆廃液を無害化。
現在、当社の主力商品の1つとなっている。



ロータリーキルン燃焼状態



特殊熱風発生炉(高压型)



直火式熱風発生炉



ロータリーキルンバーナ



空気加熱炉



HRS-UXバーナ



硫黄回収装置



廃液 & 廃ガス燃焼装置



産業機械関連

- 【主な製品群】
- ・ロータリーキルンバーナ
 - ・熱風炉
- 【主な販売先】
- ・セメント関連企業

石油関連

- 【主な製品群】
- ・空気加熱炉用バーナ
 - ・プロセスヒーター用バーナ
- 【主な販売先】
- ・石油精製企業

環境関連

- 【主な製品群】
- ・HRS-UXバーナ
 - ・インシネレーター
 - ・小型加熱炉
- 【主な販売先】
- ・化学関連企業
 - ・天然ガス採掘施設

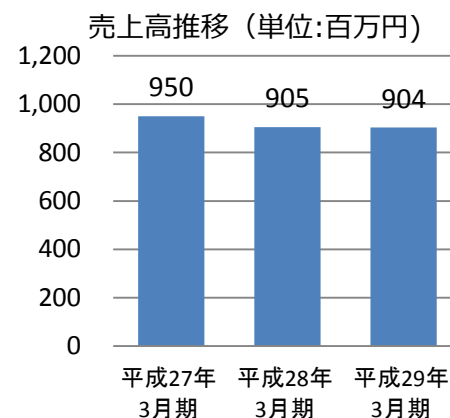
- 高効率で低NO_x性に優れたボイラ用バーナ、各種バーナなど、最新の熱技術によるバーナ製品を設計・製造・販売。

【取り扱い製品】

- ボイラ用バーナ
- ガラスエコマイザー
- ラジアントチューブバーナ

【納入先】

- ボイラメーカー
- 鉄鋼関連企業
- 窯業関連企業



Pickup !

- 蓄熱式ラジアントチューブ燃焼システム
高温空気燃焼技術を鉄鋼用熱処理炉など各種熱処理炉に適用可能かつ低NO_xを同時達成。ラジアントチューブ用ハニカム内蔵型リジェネレイティブバーナ。



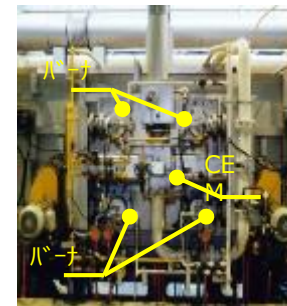
水素バーナ



ULN型低NOxバーナ



メッキ設備用 HRSラジアントチューブバーナ



連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



ボイラ関連

【主な製品群】

水管ボイラ用バーナ
水素バーナ
多種燃料バーナ

【主な販売先】

大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】

鉄鋼加熱用リジエ
バーナ
ラジアントチューブ
バーナ

【主な販売先】

鉄鋼関連企業
窯業関連企業

鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



- セラミックハニカム（蓄熱材）搭載のリジェネレイティブバーナを適用した高性能工業炉を数多く提供。

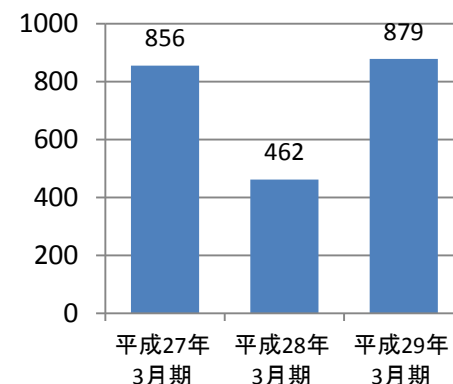
【取り扱い製品】

- バスケットレス回転炉、各種連続炉
- 各種熱処理炉
- 台車型焼鈍炉

【納入先】

- 自動車メーカー、自動車部品メーカー
- 熱処理関連企業
- 金属加工企業

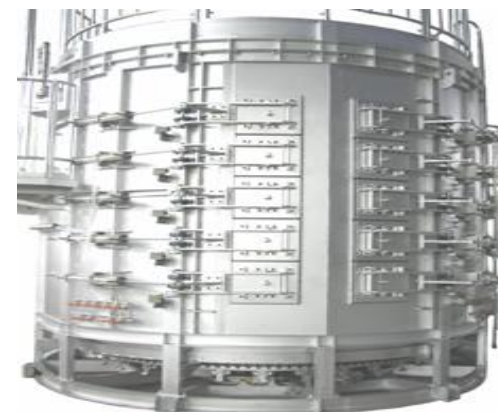
売上高推移（単位:百万円）



Pickup !

■ バスケットレス回転炉

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器『経済産業大臣賞』受賞。バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現。多くの国内自動車メーカーに採用されている。



バスケットレス多段回転炉



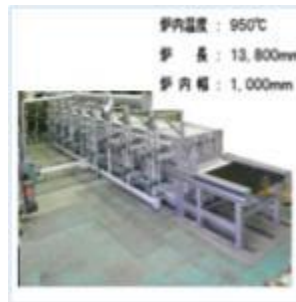
2階建 A L 鋳物 T 6 熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



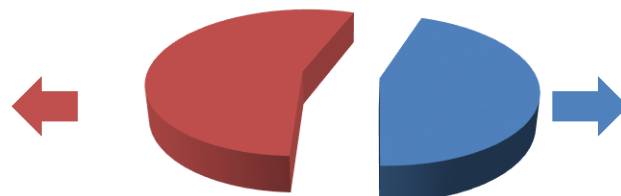
バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(R T 式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】

バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】

大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】

鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアント
チューブバーナ

【主な販売先】

金属加工メーカー
熱処理関連企業

★大型案件受注状況

(平成29年度受注案件)

自動車関連会社様より、各種アルミ熱処理設備の受注。
売上高約1.5億円。

(平成28年度受注案件)

自動車関連会社様より、各種アルミ熱処理設備の受注。
売上高約3億円。

国内重工業会社様より、大型燃料転換工事等の受注。
売上高約1.5億円。

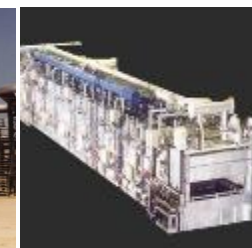
(平成27年度受注案件)

国内製鋼会社様より、バスケットレス回転炉の受注。
売上高約3.5億円。

硫黄回収装置



自動車用ガラス曲加工炉



インシネレータ
(廃ガス廃液焼却炉)



大型加熱炉



2階建AL鋳物T6熱
処理炉



バスケットレス回転炉



1. 卓越した技術力

- 高温空気燃焼等の様々な新技術の発見、導入
- 多数の受賞歴
- 60年以上の経験と実績に基づく圧倒的な技術

2. カスタムメイド

- 受注生産により、顧客のきめ細かい要望に対応
- 鉄鋼、非鉄、熱処理、窯業、石油化学・天然ガスプラントなど多分野へ供給
- 在庫リスク等は無し

3. 高い製品信用力

- 高性能・高機能の製品分野に強み
- 高いリピートオーダー率

4. 優良な顧客基盤

- 販売先は大手優良企業が大部分を占める

5. ファブレスで柔軟な経営

- 自社工場生産は約 1 割程度
実質的なファブレス企業
- 経営的選択肢が極めて豊富

6. 豊富な知財・特許

- 今まで取得した特許は
国内特許、海外特許合わせて累計1000件以上

1

会社概要

2

事業内容

3

平成29年3月期 決算概要

4

1 9 中期経営計画

5

戦略的新製品のご紹介

連結損益計算書



(単位：千円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	1,839,799	2,590,466	750,667	40.8%
売上総利益(損失)	468,473	431,149	△37,324	△8.0%
販売費及び 一般管理費	611,648	570,461	△41,186	△6.7%
営業利益(損失)	△143,174	△139,312	3,862	—
経常利益(損失)	△154,931	△142,945	11,985	—
税金等調整前 当期純利益(損失)	△152,974	△142,945	10,029	—
親会社株主に帰属する当期純利 益（当期純損失）	△175,980	△179,623	△3,642	—
包括利益	△183,532	△169,723	13,809	—
EBITDA	△117,728	△116,110	△5,322	—

※EBITDA=（営業利益△139,312+減価償却費23,202）

売上高増減の内容

< 案件規模別 >

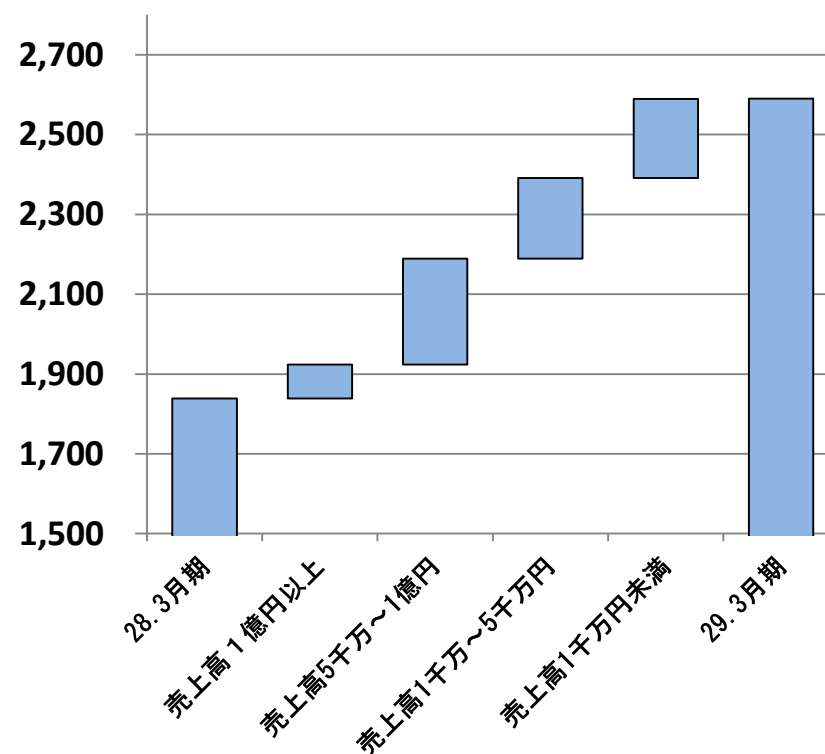
(単位：千円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	1,839,799	2,590,466	750,667	40.8%

(単位：千円)

	売上高
平成28年3月期実績	1,839,799
売上高 1 億円以上の案件増減分	85,141
売上高5千万円以上の案件増減分	265,042
売上高1千万円以上の案件増減分	202,086
売上高1千万円未満の案件増減分	198,396
平成29年3月期実績	2,590,466

(単位：百万円)



- ・ 5 千万円～ 1 億円の中規模案件が活発化
- ・ 案件規模に関わらず全般的に売上増

< 部門別 >

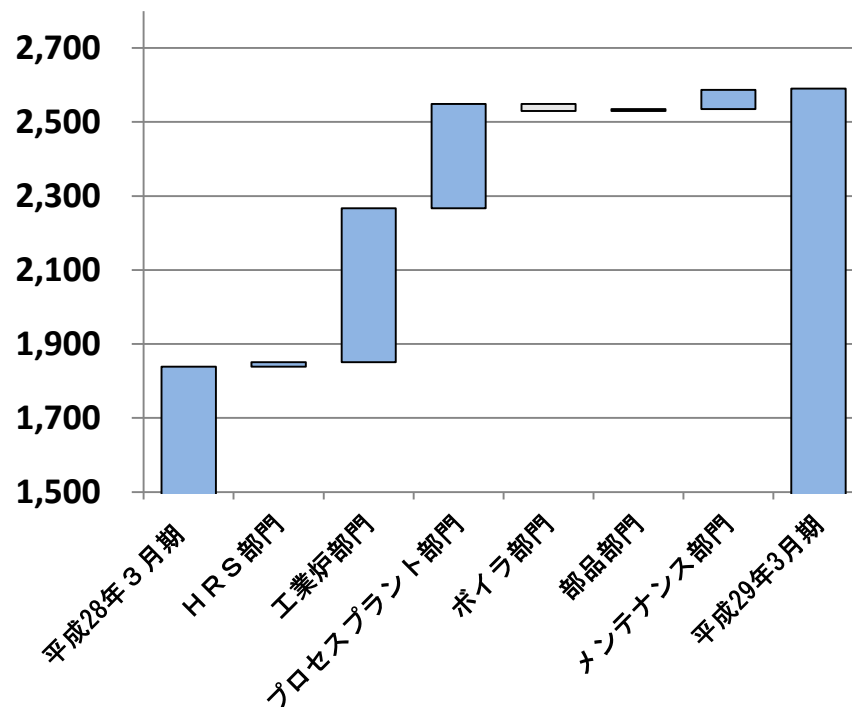
(単位：千円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	1,839,799	2,590,466	750,667	40.8%

(単位：千円)

	売上高増減
平成28年3月期実績	1,839,799
HRS部門	12,352
工業炉部門	416,785
プロセスプラント部門	282,464
ボイラ部門	△19,309
部品部門	5,886
メンテナンス部門	52,486
平成29年3月期実績	2,590,466

(単位：百万円)



- ・自動車関連企業への売上が好調な工業炉部門が大幅増
- ・プロセスプラント部門も回復基調に

営業利益増減の内容

(単位：千円)

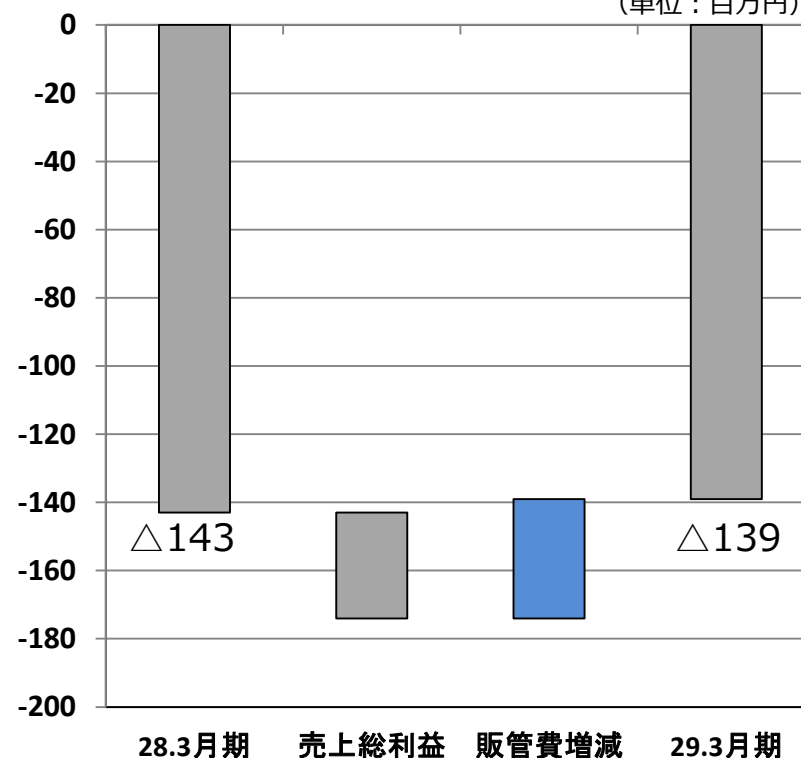
	平成28年3月期	平成29年3月期	前期比増減額	前期比増減率
営業利益(損失)	△143,174	△139,312	3,862	—

(単位：千円)

	営業利益増減
平成28年3月期実績	△143,174
売上総利益の減少	△37,324
販売費及び一般管理費の減少	41,187
平成29年3月期実績	△139,312

- ・売上高大幅増ながらも、価格競争激化による不採算案件、想定外の原価発生により、売上総利益が悪化
- ・販売費及び一般管理費の圧縮

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成28年3月期末	平成29年3月期末	増 減
流動資産	2,749,568	2,696,753	△52,815
固定資産	1,115,237	1,000,072	△115,165
資産合計	3,864,806	3,696,825	△167,980
流動負債	608,236	602,374	△5,861
固定負債	396,040	403,644	7,604
負債合計	1,004,276	1,006,019	1,742
資本金	2,131,532	2,131,532	0
資本剰余金	40,280	40,280	0
利益剰余金	247,475	67,851	△179,623
自己株式	△210	△210	0
株主資本合計	2,419,077	2,239,453	△179,623
その他の包括利益累計額合計	441,452	451,352	9,900
純資産合計	2,860,529	2,690,806	△169,723
負債純資産合計	3,864,806	3,696,825	△167,980

【流動資産】	○ 内は前期末比増減
現金・預金	1,545百万円 (△275百万円)
受取手形・売掛金	684百万円 (155百万円)
仕掛品	95百万円 (△ 90百万円)
繰延税金資産	- (△ 26百万円)
【固定資産】	
土地・建物等	785百万円 (△ 7百万円)
投資有価証券	123百万円 (14百万円)
保険積立金	29百万円 (1百万円)
【流動負債】	
支払手形・買掛金	287百万円 (57百万円)
短期借入金	13百万円 (3百万円)
前受金	22百万円 (△ 43百万円)
未払税等	31百万円 (△ 79百万円)
【固定負債】	
再評価に係る繰延税金負債	196百万円 (± 0円)
退職給付に係る負債	182百万円 (5百万円)

財務指標

	平成28年 3月期末	平成29年 3月期末
自己資本比率	74.0%	72.8%
有利子負債	44百万円	434百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	平成28年3月期	平成29年3月期	前年同期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	130,887	△372,642	△503,529
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,151	△5,236	4,914
財務活動による キャッシュ・フロー	△36,616	3,000	39,616
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△16,944	△8,479	8,464
現金及び現金同等物の 増減額	67,174	△383,358	△450,533
現金及び現金同等物の 期首残高	1,750,130	1,817,305	67,174
現金及び現金同等物の 期末残高	1,817,305	1,433,946	△383,358

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前当期純損失	142百万円 (－)
減価償却費	23百万円 (+)
売上債権の増加	155百万円 (－)
たな卸資産の減少	58百万円 (+)
仕入債務増加	57百万円 (+)
前受金の減少	43百万円 (－)
法人税等の支払額	4百万円 (－)
その他	243百万円 (－)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

定期預金の減少	1百万円 (+)
有形固定資産取得支出	8百万円 (－)
保険積立金解約収入	3百万円 (+)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加	3百万円 (+)
----------	----------

部門別売上高

(単位：千円)

	平成28年3月期		平成29年3月期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
工業炉燃焼装置製造業	1,837,999	99.90%	2,588,666	99.93%	750,667	40.84%
H R S 部門	433,193	23.55%	445,545	17.20%	12,352	2.85%
工業炉部門	462,580	25.14%	879,365	33.95%	416,785	90.10%
プロセスプラント部門	286,444	15.57%	568,908	21.96%	282,464	98.61%
ボイラ部門	202,802	11.02%	183,493	7.08%	△19,309	△9.52%
部品部門	269,958	14.67%	275,844	10.65%	5,886	2.18%
メンテナンス部門	183,022	9.95%	235,508	9.09%	52,486	28.68%
その他の事業	1,800	0.10%	1,800	0.07%	0	0.00%
合 計	1,839,799	100.00%	2,590,466	100.00%	750,667	40.80%

部門別受注状況

(単位:千円)

	平成28年3月期		平成29年3月期		前年比増減額	
	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残
工業炉燃焼装置製造業	2,787,099	1,481,929	1,942,800	836,062	△844,299	△645,867
H R S 部門	526,562	146,749	422,535	123,739	△104,027	△23,010
工業炉部門	997,015	723,461	395,699	239,795	△601,316	△483,666
プロセスプラント部門	586,937	353,002	389,588	173,682	△197,349	△179,320
ボイラ部門	204,505	144,648	224,099	185,254	19,594	40,606
部品部門	280,198	54,778	244,064	22,998	△36,134	△31,780
メンテナンス部門	191,883	59,292	266,808	90,592	74,925	31,300
その他の事業	—	—	—	—	—	—
合 計	2,787,099	1,481,929	1,942,800	836,062	△844,298	△645,866

★決算総括

- 好調な自動車関連企業への注力など、積極的施策で売上高は大幅に回復
- 原油価格の低迷による厳しい事業環境が継続
- 競争激化による不採算案件や、一部の案件において想定外の原価を計上し損失計上

平成30年3月期 業績予想

単位 (百万円)

科 目	平成29年3月期	平成30年3月期	
	通期(実績)	通期 (予想)	前年同期比
売上高	2,590	2,500	△3.5%
営業利益(損失)	△139	50	—
経常利益(損失)	△142	50	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	△179	40	—
1株当たり 当期純利益(損失)	△5.85円	1.30円	—

不採算案件等の原価押上げ要因解消で
業績のV字回復を見込む

1

会社概要

2

事業内容

3

平成29年3月期 決算概要

4

1 9 中期経営計画

5

戦略的新製品のご紹介

「16 中期経営計画」の総括（基本方針）

16中計で掲げた基本方針

燃焼装置関連事業の海外展開強化

市場ニーズに対応した新製品開発

安定配当の実現

コンプライアンス、コーポレート・ガバナンス重視の徹底

結 果

海外売上比率については横這いも
アジア圏を中心に将来の成長に向けた布石を打つ

新型キルンバーナ開発、新型加熱炉開発
NFK-JSA型 ハイスピード バーナ開発など
積極的に新製品投入

厳しい事業環境の中、
損失計上を余儀なくされたことから無配へ

独立役員取締役選任、
決算説明会、会社説明会、各種 I R イベントへの
出展など、積極的な I R 活動による情報発信

「16中期経営計画」の総括（業績）

16中期経営計画期間

（単位：百万円）

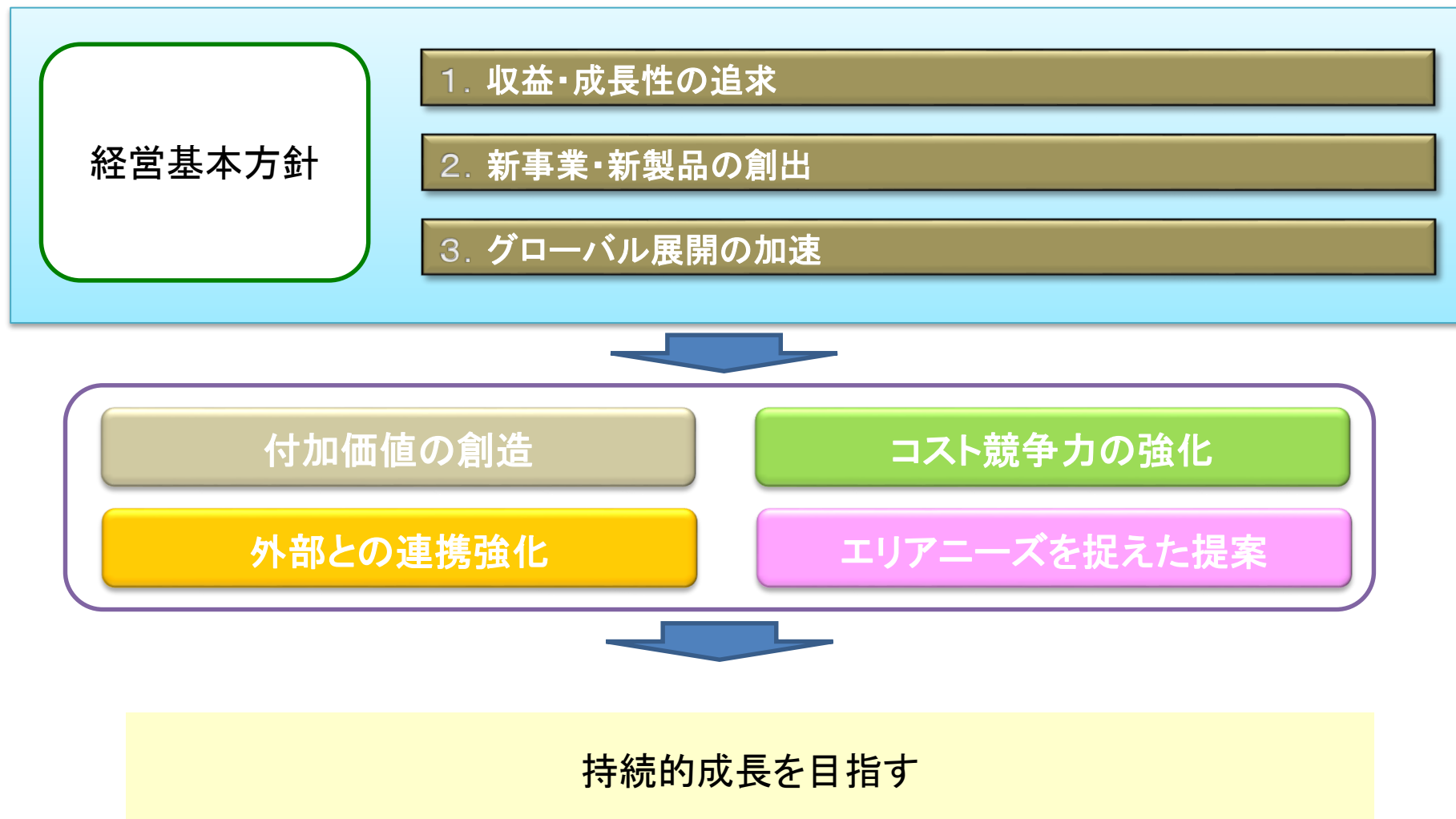
	平成26年 3月期
売上高	3,171
営業利益	222
経常利益	217
当期純利益	186
純資産	3,029
1株利益（円）	6.08
1株純資産（円）	98.64
配当金（円）	1.00

平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期
3,010	1,839	2,590
86	△143	△139
90	△154	△142
62	△175	△179
3074	2,860	2,690
2.04	△5.73	△5.85
100.11	93.14	87.61
1.00	0.00	0.00

平成29年 3月期 （中計目標）
5,000
16.3%
500
400
3,859
13.02
125.64
3.00

「19 中期経営計画」

2017～19年度を対象とする「19 中期経営計画」を策定



「19 中期経営計画」 重点戦略

付加価値の創造

- ・ニーズをつかみ価値を創出
- ・販路活用と開拓
- ・基幹商品提案の強化

外部との連携強化

- ・コア技術育成
- ・マーケットチャネル活用
- ・高付加価値の追求

コスト競争力の強化

- ・生産、物流の効率化
- ・ものづくりの技術革新
- ・加工メーカーの刷新

エリアニーズを捉えた提案

- ・新たな商品カテゴリー拡大
- ・戦略商品で展開エリア強化

持続的成長を目指す

「19 中期経営計画」

<積極的施策により、2019年度売上40億を目指す>

(単位: 百万円)

	平成28年 3月期(実績)	平成29年 3月期(実績)	平成30年 3月期(計画)	平成31年 3月期(計画)	平成32年 3月期(計画)	19中計期間 増額予定分
売上高	1,839	2,590	2,500	3,300	4,000	1410
対前年増収率(%)	△143	△139				
経常利益(損失)	△154	△142	50	200	400	542
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	△175	△179	40	160	280	459
純資産	2,860	2,690	2,730	2,890	3,140	450
1株利益(円)	△5.73	△5.85	1.3	5.21	9.12	14.97
1株純資産(円)	93.14	87.61	88.88	94.10	102.24	14.63
配当(円)	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	2.00

オリンピック工業との事業提携について

オリンピック工業との事業提携は第3段階へ

第1段階

- ・オリンピック工業による出資(資本提携)

第2段階

- ・オリンピック工業への製造委託による原価低減

第3段階

- ・人的交流を含む技術的交流深化による、さらなる効率化の追求
ベテランおよび若手技術者をオリンピック社に常駐化

NFK

- ・製造工程からのフィードバック強化
 - ① コスト意識の高い設計力強化
 - ② 詳細設計の高度化を実現



- ・品質向上
- ・コスト低減
- ・技術力のさらなる向上



- ・製造委託先との価格交渉力UP
- ・製造委託先多様化による納期短縮



設計・製造工程における
スパイラルアップの実現

オリンピック社

当社案件の利益率向上による受入増大化

1

会社概要

2

事業内容

3

平成29年3月期 決算概要

4

1 9 中期経営計画

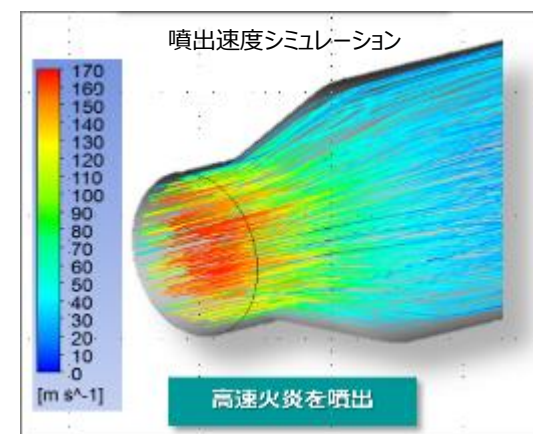
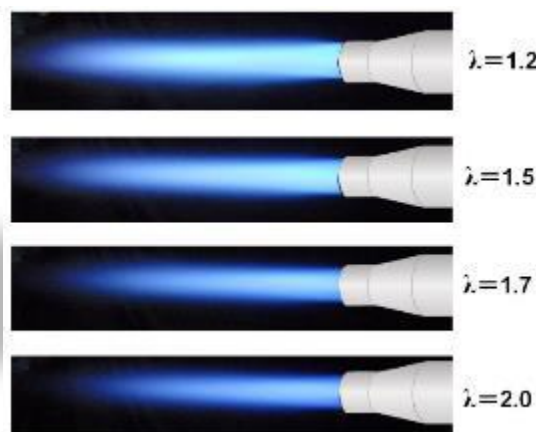
5

新製品のご紹介

NFK-JSA型 ハイスピード バーナ

戦略的新製品 NFK-JSA型 ハイスピード バーナ (NFK-Jet Swirl Air Flow バーナ納入開始)

- ・150m/s 以上の高速流火炎噴出で炉内を攪拌、炉内ガス巡回を促進
- ・炉内循環ファンなしでも温度分布を良好に維持
- ・低空気比から高過剰空気比に対応
- ・ダイレクト点火方式の為パイロットバーナ・バーナタイル不要
- ・非常に小型・軽量化を実現
- ・平成29年3月期より納入を開始。台車式熱処理炉等に配備



＜参考資料＞

☆ 日本ファーンセス燃烧技術研究所

宮崎県西都市に日本ファーンセス燃烧技術研究所を保有。
各種大型バーナを対象にした燃烧試験システムにより
「技術のN F K」の再確立に向けて取り組んでおります。

開発実績

- ・N F K H i C D F バーナ (ロータリーキルン用ハイモーメントムバーナ)
- ・S R X - E バーナ (石油加熱炉用低NOx型バーナ)

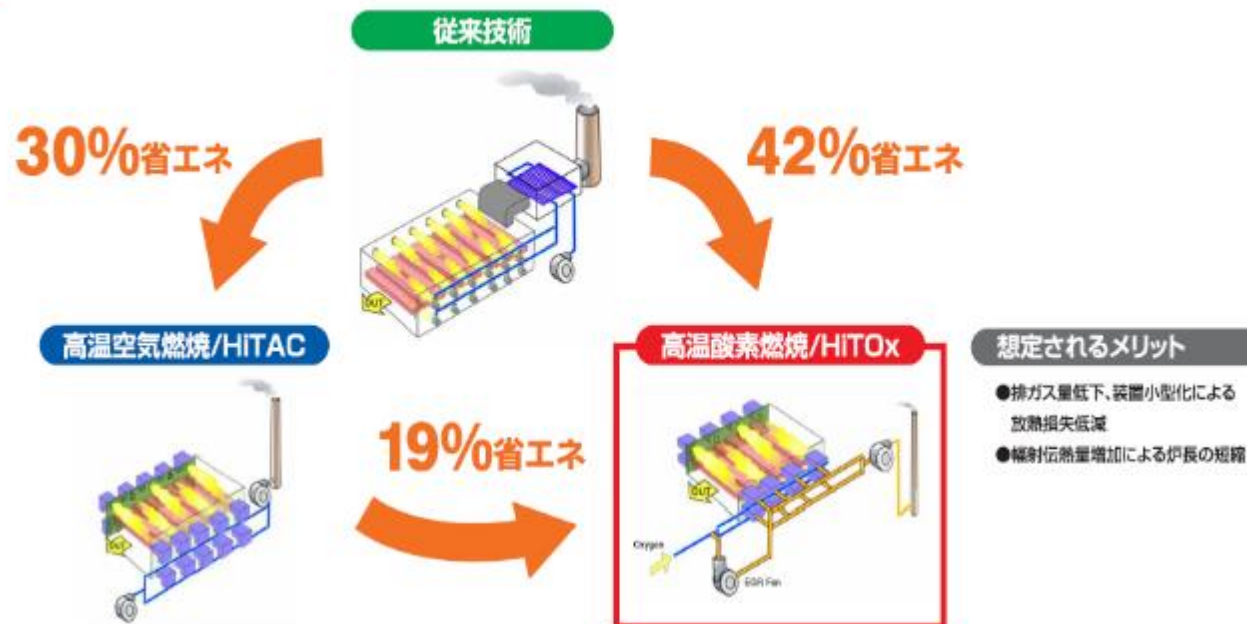


高温空気燃焼技術を発見し、その開発をリードした N F Kグループの新たな挑戦

■ 高温酸素燃焼装置とは？

従来の空気を使った燃焼では無く、純粋な酸素を高温にして燃焼させることにより、排ガス量低下による効率化を実現するとともに、 $\text{NO}_x = 0$ レベルの燃焼を実現する事が可能となる。

高温酸素燃焼の工業的な利用方法（連続鉄鋼加熱炉の場合）



・省エネ
・ $\text{NO}_x = 0 \text{ ppm}$
の実現へ

<参考情報>

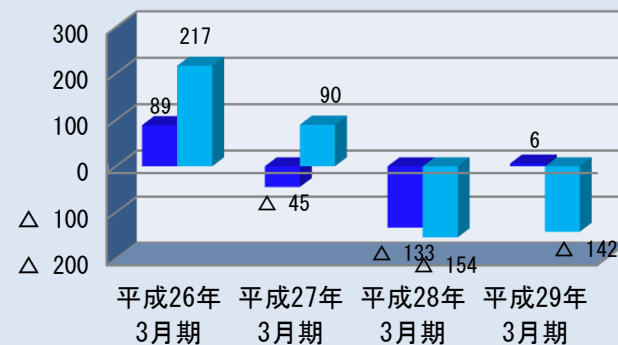
売上高

(単位:百万円)



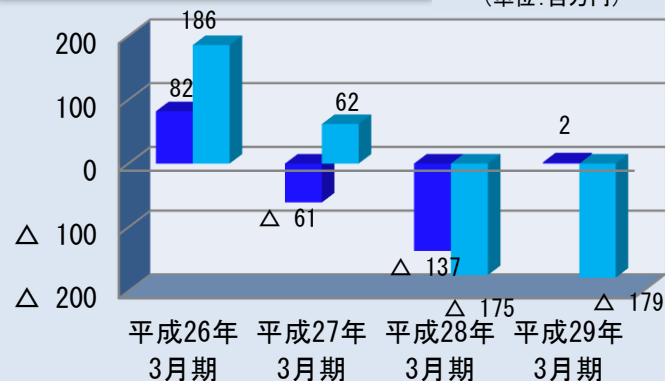
経常利益 (損失)

(単位:百万円)



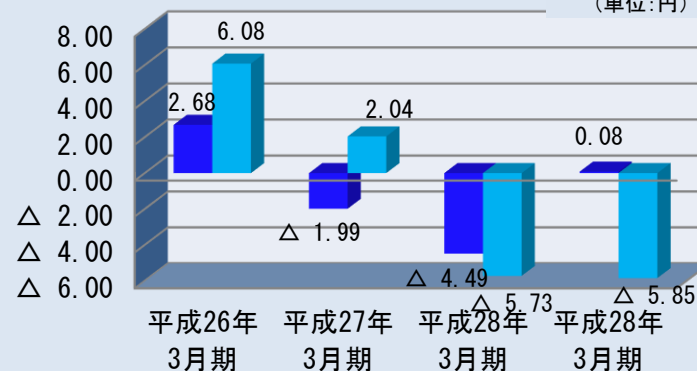
当期 (四半期) 純利益 (損失)

(単位:百万円)



1株当たり当期 (四半期) 純利益 (損失)

(単位:円)

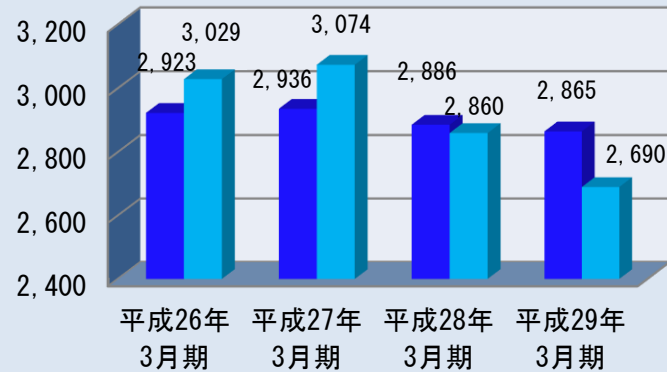


■ 第2四半期

■ 通期

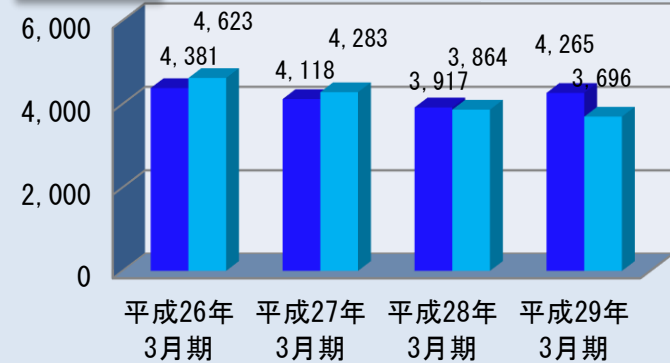
純資産

(単位:百万円)



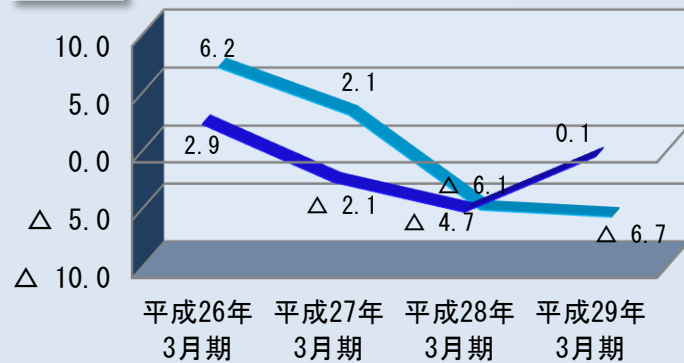
総資産

(単位:百万円)



ROE

(単位:%)



(注)次の通りROEを算出しております。

ROE=当期(四半期)純利益/(平均純資産-新株予約権-少数株主持分)

■ 第2四半期 ■ 通期

本資料に関するお問い合わせ

株式会社 N F Kホールディングス I R企画室

TEL : 045-575-8000

E-MAIL : ir@nfk-hd.co.jp

★注意事項 本資料に記載されている計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性があります。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

